

ピスガからの風 第27号

2011年1月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/



明けまして おめでとうございます。

旧年中は、皆様にご厚情を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は、①厨房設備の充実、機器の買い替え ②デイサービスの特殊浴槽の購入 ③リフト送迎車の購入などを行い、ご利用者様によりよいサービスが提供できるように施設整備を行いました。

環境の変化の激しい世の中中的確に対処できるように、スローガンを「環境の変化に適応する」とし、柔軟な顧客対応ができるように努めてまいりました。

本年は、6月に小規模多機能型居宅介護事業所がオープンします。在宅を支える「通い・泊り・訪問」の三拍子揃った期待に応えられる施設にまいりますので、ご期待下さい。



館長 森口 茂



クリスマスページェント 12月20日

信愛幼稚園児の見事な楽しい劇でした



12月23日

クリスマス祝会

甲西吹奏楽団の演奏入りで楽しい祝会が行われました



祝 百寿

ケアハウス入居者の堀江遠久子様が百歳のお誕生日をお迎えになりました。

(明治43年9月18日生)



滋賀県老人福祉施設研究協議大会

開催日: 2010年12月12日
目的: 介護職員の現状の取り組み、及び将来の課題に対する取り組みに対する解決策の提示により、研究協議することを目的として開催されました。
会場: 滋賀県立長寿福祉センター
内容: 近江ちいろば会からは、2つのテーマで発表いたしました。

- ① グループホーム 「子ども見守り隊」としての活動 小学生の下校時間に合わせて通学路に散歩に行くことにより、地域とのふれ合いを図る
 - ② ほだいじデイサービスセンター 「スペースの見直し」 個々の過ごし方に沿った環境作り
- 二つの発表とも、素晴らしい取り組みと評価されていました。



発表者 堀内京子 宮島頼子 発表者 嶋田由季 上西 忍

基本理念:人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

「ピスガホールギャラリー」

9月

野崎 藤滋氏 写真展『夏の思い出』



10月

竹嶋 博邦氏 水彩画展



11月

猪飼 宜妙氏とお弟子さん 書道展『アトリエ櫻展』



12月

田中 成子氏と3教室の方々 バッチワークキルト展



創立16周年記念式典

平成22年9月2日、奈良譽夫理事長、法人創設者の後宮俊夫氏ご同席のもと、多くの職員が集まり、盛大に法人の“創立16周年記念式典”を行いました。

式典では、法人16年の歴史を振り返り、行政の方々や地域の皆様に温かく支えられ、今日の近江ちいろば会があることを改めて感謝し、あわせて勤続10年以上を迎える職員13名の表彰を行いました。

そして、日清医療食品株式会社様から、車椅子の贈呈や祝電等を頂戴しましたこと、心より御礼申し上げます。

【永年勤続表彰職員】

小松 妙	竹内 久子
黒柳 ひとみ	芦田 泰俊
畠 真里子	國丸 清美
坂本 真由美	三原 智恵子
三浦 寿子	秋山 やよい
土永 明美	坂口 敦美
奥野 恭子	



俳句

花筏 疏水抜ければ京の街
春灯火 京都みやげの五色豆
茶を汲みて 亡夫に供えん節句餅
春の宵 老女が一人紙を折る
八十路坂こえてしむじみ母偲ぶ

(グループホーム入居者様作)

ご寄付ありがとうございます 中央競馬馬主社会福祉財団 様より助成金を頂きました。

デイサービス 特殊浴槽設置

この度“中央競馬馬主社会福祉財団”様よりデイサービスの特殊浴槽購入に関する助成金の交付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

新しく設置された特殊浴槽は、座位のまま入浴することができ、お湯の交換も素早くできるため、多くのご利用者様により快適な入浴を提供させて頂けることとなりました。



寄付金・後援会費 感謝報告 2010年8月9日～2010年12月22日現在

後援会へのご加入をお願い申し上げます。ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。

(順不同・敬称略)

伊藤保・郁子	宇野 豊・木村 アサ	乙幡 和雄
医療法人 大山病院	榎本 てる子	北村 ミツ子
上島 良彦	扇田 幹夫・紀子	君村 昌・千代子

信愛幼稚園	安野 喜仁・優美
田中 ミドリ	安福 美代子
辻 康	山本 孝子
津田 匡美	米田 康子
とみおか内科クリニック	日清医療食品株式会社 (車椅子寄贈)
西村 マツ子	奈良 譽夫
堀江 義隆	
前田 敬子	
眞柄 正子	

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ほだいじデイサービスセンター/ほだいじホームヘルパーステーション/ほだいじ居宅介護支援センター/高齢者支援センターほだいじ/グループホームほだいじ/中央デイサービスしんあい

発行日 2011年1月

発行責任者

理事長 奈良 譽 夫
館長 森口 茂



取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 0960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

 **地域交流特集**

菩提寺北小学校 交流会

菩提寺北小学校 4年生 57名との交流会をもちました。温かい笑顔で歌や演奏などをきいておられました。その後のカルタとりでは皆さん真剣そのもの！！白熱の戦いを繰り広げられていたり、折り紙では教えあったりしてほのほとした雰囲気、笑い声の絶えないあという間の交流会となりました。



11/5
(金)

菩提寺センターまつり
～展示・バザー～

公民館で開かれた文化祭にピスガも今年初めて参加しました！！地域の方の展示作品や、地区ごとに模擬店を出店され、たくさんの方で活気に溢れたお祭りでした。ピスガからも入居者様にお手伝いいただき、一つ一つ心を込めて作ったキャンドルツリーを5名の入居者様とともに販売しました。来られた方は「かわいいね」と気に入って買ってくださり、見事完売しました！！今後も様々な形で、地域の方などいろいろな人と出会える機会をもちたいと思います。



10/8
(金) **福井旅行**

10月8日(金) 福井へ日帰りバス旅行に出かけました！！今回は、大型バスを貸し切り、ケアハウスの方27名、地域のるんるんクラブの方8名、職員6名の総勢41名の旅となりました。朝に出発し、職員扮するバスガイドのもと、クイズやカラオケなどで盛り上がりました。地域の方など普段あまりお会いすることのない人々との交流がもて、新しい出会いもあってより楽しい旅となりました。皆さん三方五湖のクルーズをととても喜んでくださり、福井に行ったことがある方でも三方五湖は初めてという方が多く、「良い思い出になりました」とおっしゃってくださいました。バスを降りられる時には皆さん両手にたくさん荷物を抱え、笑顔で「また行きたい」と声をかけてくださいました。



後宮俊夫・松代ご夫妻 牧会50年感謝会

後宮俊夫 牧師の礼拝説教要旨
(近江ちいろば会創業者)

私は滋賀県の近江富士の裏側で、老人ホーム(ケアハウス ピスガこうせい)の建設に関わり、その近くに住んでおります。

私が88歳、松代が80歳そして、教団の補教師になって50年。それで牧会50年ということでお祝いをしようと企画してくれました。

牧会は二人でやったというより、ほとんど松代がしたというべきでしょう。ここにお集まりの人々は、松代との関わりが深いと思います。

象徴的に申しますと、教会の仕事を終えて、私が牧師館に帰ってきますと、牧師館につどっていた教会員が、「そろそろ帰るか」という状況でありました。教会の信徒のいろいろな出来事は松代を通して聞かされていたのです。

今日、これだけ多くの方々がお集まりいただいたのは、ただただ感謝でございます。私に感謝していただくより、私が皆様に感謝しなければならないのです。

私は、キリスト教にはむしろ反発をしていたのです。私は、真珠湾攻撃から第二次世界大戦に参加しました。その前は、海軍兵学校にいたのですが、海軍兵学校に入るのも繰り上げて本当は4月に入学するのですが前年の12月1日に入り、戦争になるかもしれないので4年の課程を3年で終えるということでありました。経済的に日本は圧迫されてきて、日本は大陸から撤退するようにアメリカから要求され、石油を止められたら産業の多くが停止するということで、戦争に突入したのです。11月15日に海軍兵学校を卒業し、いきなり連合艦隊に配属となり、兵学校は海に面している表棧橋が正門で、そこから兵学校の練習艦に乗り、呉に行きそして夜行列車に乗り横須賀に着き、比叡に乗り霧島と合流することになりました。その時も、いまの海軍の力で勝てるわけがないと思っていたのです。兵学校を430人卒業するが1年経ったらこのうち生き残っているのは10人ぐらいだろう。だから、生き残ったら元帥間違いないなどと言われていました。和平交渉がまとまれば戦争が回避されることになっていました。

しかし戦争に突入していき、戦争に負け、軍隊は解体され、職業軍人は公職追放で何もすることができなくなりました。命を捨てお国のため、日本が生きのこるためとやったことが、何だったのか。お前は悪いことをしたと言われ、世の中どうなっているのかと思いました。

世界を通じて変わらないモノは、何だろう。国が変わっても、時が変わっても変わらない真実は何だろう。これが、戦後の私の課題でした。

しばらく志摩で真珠の仕事をしていましたが、おもしろくなかったので辞め、ぶらぶらしていました。

京都で榎本保郎牧師が、神学生で若いのに献身的に保育園の仕事をしていました。母親が民生委員で、保育園に子供を入園させる世話をしていたものだから、若いのに

2010年9月20日 びわこホテルにて
260名のご出席のもと盛大におこなわれました。

自分の財をなげうって保育所をして偉い人がいるものだと思っていました。こちらは仕事を探してぶらぶらしていたので、手伝いをする事になったのです。京都市内の古材を市内から伏見桃山へ大八車で運んで、それで改造して保育園を始めました。当時は保育所が制度化された時で、そのような建物でも認可されていたのです。後から聞いた話ですが、市の役人が、聖公会の会員だったので、便宜を図ってくれたということもありました。



当時、榎本保郎から、あれやれこれやれと保育園に引っ張り込まれていき、その後、洗礼を受け信仰を持つと言われましたが、私は反抗をしていました。保郎さんは素晴らしい働きをしているが、信仰は心の問題だと思っていたのです。頭水を垂らす洗礼を受けたからといって、素晴らしい人間になるわけじゃないと。それで保郎さんはカンカンに怒って「それがお前の罪だ」と言ったので、洗礼を受けました。

こんな私が、牧師になっていくのですから、神様に感謝するほかないわけです。

戦争中に死ぬようなめにあったのに、生かされていた。これが神様の選びだと思っていましたが、胎内に造られるまえから世界の最初から神様に選ばれていたのだと今頃になって分かるようになりました。

すべての人間は、神様の民。信者でない人も神様の民。あんな奴と言われている人も神様に選ばれていると思うようになりました。

ここに集まれた皆様にただ感謝だけです。榎本牧師は、「主がなされたことは、この群衆を深く憐れまれた」ことであると教えていました。

悩み苦しむ人たちのことが最近になって分かるようになってきました。すべてをおさめておられるのは、愛にあられる神様に他ならない。神様が、こんな私をこのよう多くの人々と共に働けるように支え導いてくださった。それぞれの所にいろいろな局面があるのですが、全ての局面で働かれるのは、愛にいます神様です。

自分たちの身近なところにおられる人達に、愛の手を差し伸べていくのがイエス様の弟子である私のなすべきことであると信じています。

そうでなければ、この世界にキリストにある平和の実現はあり得ないのです。